

頼山、内田兩先生を生んだ福岡の地では割れる様な大會であらうと人々は語り吾々もそう信じて居た、然るに本日の参加者はどうか、少数ではあるが福岡の熱のある諸君と夜更迄語り得る事を喜ぶ、現在の國情を見て起上らずには居られない、諸君も手を握り合つて起上らなければいけない、仲びんとして仲びられないのは大きな石が被さつてあるからた、大きな石を排除く事か吾々の使命である、それには力を要する、三十萬の同志ではまだ足りない、もつと大きな力として政治機構を破壊はせ、東北の窮状を見よ一日の生活費は七錢五厘から八錢で、刑務所の食費は一日二十三錢だ、刑務所に入つて温かい物が喰ひたいと思はせる様な有様である、東北には三千萬圓以上の金持も多數ある、この貧富の差の大きいのは政治機構、經濟機構に缺陷があるか

ちだ、之等を改革せんとする事がどうして危険思想であるか、昭和の維新断行は九州の地からと信じてゐる、シーザを殺したブルータスはシーザよりもローマを愛すると言つた、心情を同じくする五、一五事件諸氏の意志をついで言はんとするところを言ひ、やらんとする事をやるのが吾生黨である、國防を完備するにも財閥、政黨を改革せねば駄目だ、吾々は何等の野心もない希望が達すれば、何時でも宮城の前で解黨をする皇道維新を断行し腹なき政治家を一掃して強力外交政策を取り明るき日本にせよと言ふ頼山、内田兩先の氣持を諸君に訴へる

○ 吾等に與へられたる使命 關西本部遊説部長山 本 千 一
 今や日本は政友、民政、無黨黨に委せては置けなくなつた眞實の改造をするには世界の情勢を大觀し高所より取りか